



今日のキーワード 米『政権移行』開始で、バイデン政権本格始動！

米国の大統領選挙が行われてから既に3週間がたちますが、ここに来てようやく『政権移行』が本格化しようとしています。トランプ大統領は、大統領選挙での敗北を認めず、政権の引き継ぎを拒否してきましたが、23日に『政権移行』手続きの開始を容認しました。今後、バイデン氏らは、最新の機密情報を入手したり、各省高官に公式に接触することが可能となり、新政権が本格的に始動します。

ポイント1 敗北宣言を行わないトランプ大統領

- 米国の大統領選挙では、敗れた候補者が敗北宣言を行い、それを受けて政権の引き継ぎが行われるのが通例です。ただ、今回、トランプ大統領は自らの勝利を主張し、多くの州で法廷闘争を繰り広げ、敗北宣言を行っていません。
- このため、バイデン氏側は、新政権開始の準備を進めることが出来ず、今後の政策の空白期間が懸念されてきました。ミシガン州などの激戦区では、ここに来てバイデン氏の勝利を公式に認定し始めており、トランプ大統領側の法廷闘争は思惑通り進んでいないようです。米経済界も、新型コロナウイルス危機の中での政策の停滞を懸念しており、円滑な『政権移行』を求める声が強まっていました。

ポイント2 ようやく『政権移行』がスタート

- こういった動きを受けて、23日にトランプ大統領は、『政権移行』の開始権限を持つ政府一般調達局に移行手続きに入る事を認めました。ようやくバイデン氏陣営は高度な機密情報を入手することが出来る他、政府当局者と新型コロナや安全保障問題等についての協議を始めることが出来ます。
- また、バイデン氏は、主要人事を固めつつあります。まず、23日に外交・安全保障分野の6名の高官を発表しました。国際協調と同盟国との連携の重視や気候変動問題への取り組みの復帰が進められる見込みです。

【米国大統領選挙、今後の日程】

年月日		予定
2020年	11/23	米政府、トランプ大統領、新政権への移行業務を容認
	12/8	各州の選挙結果認定期限、各選挙人指名
2021年	12/14	各州選挙人が大統領候補に投票
	1/6	連邦議会が投票結果確認
	1/20	大統領就任式

(出所) 各種報道を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

今後の展開 『政権移行』を評価し株価最高値も、今後は新政権の政策に注目

- 米国では24日、NYダウが史上最高値を更新し、初の3万ドル乗せとなりました。足元、新型コロナの感染再拡大による景気回復の後ずれに対する懸念は残りますが、新型コロナ向けワクチンの開発が進み、実用へのめどがついたことや、『政権移行』が進み始めたことが背景となっています。
- 財務長官には米連邦準備制度理事会（FRB）前議長のイエレン氏が起用される見込みです。イエレン氏は、最近、金融政策は既に利下げ余地がなく、財政政策が極めて重要だと追加財政出動を求めています。今後、FRBと連携しつつ、必要に応じた的確な財政政策が行われることが期待されます。

ここもチェック！ 2020年11月25日 3万ドル乗せとなったダウ工業株30種平均
2020年11月 9日 バイデン新大統領の下、景気回復を確かなものに

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。